

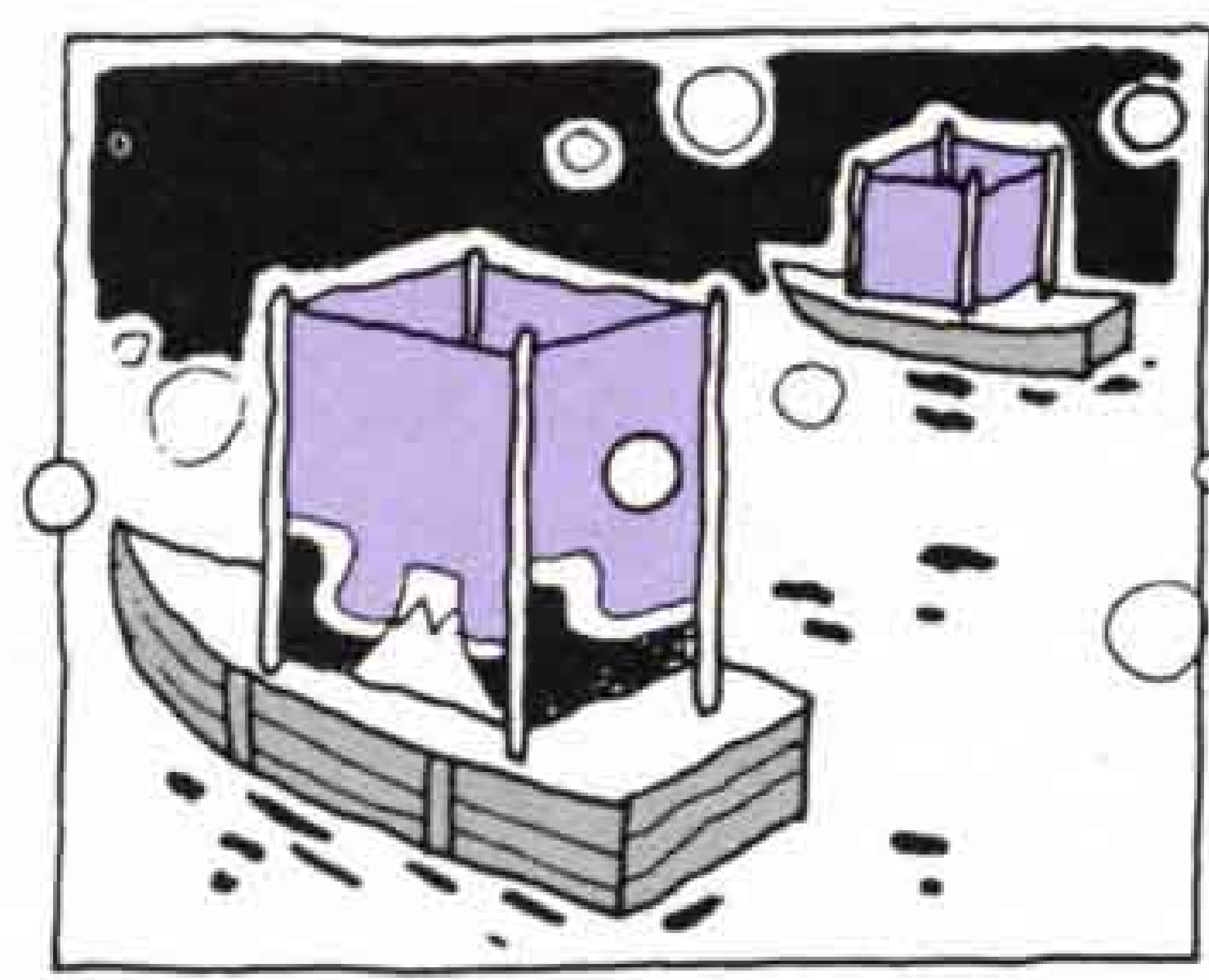
富士の民話 あれこれ

明治の末、吉原教会に山中笑（号を共古）という牧師がいました。民俗学者としても知られた彼は、吉原での生活を見聞記録「吉居雑話」としてまとめ、当時の伝説、童歌や年中行事などを紹介しています。
今回は、その中に記された、お盆にまつわる行事について紹介します。

山中共古

吉居雑話

より



吉原では、旧暦の七月一日から三十一日夜まで家々の戸口で、火をたき（杉を細かく割り小さく束ねたものを燃やす）、先祖を祭りました。八朔（旧暦の八月一日）の朝も火をたきますが、この日は子供たちが大勢で各戸へ盆灯ろうの紙房をもらいにいき、次から次へ「灯ろうの房おくれ、おくれ」ともらい歩きます。
盆ちようちんをとす家でも、ちようちんへ横木を渡し紙房をつけ、七月中は飾りにし、八朔には多数の子供に与えるようにしました。

（吉居雑話より）

今回の広報ふじは「戦争と平和」をテーマに企画しました。皆さんは、戦時中、富士市に軍事目的の飛行場があつたことを知っていましたか。若い世代や富士市へ転入してきた人の中には、知らない人もいるのではないのでしょうか。幾つかの資料を調べてみると、当時の生々しい様子が浮き彫りになってきました。ところが実際に取材を進めていくと、大きな壁にぶつかりました。それは、まさに来年で終戦五十周年を迎えようとしている「時間」の壁でした。
当時を鮮明に物語る写真などは少なくなっていて、人もまた、病床に伏していたり、亡くなつていたりしました。しかし、私たちは平和を願つて、戦争の悲劇を伝え続けなくてはなりません。そのため広報広聴課では、戦争に関するビデオテープなどを、お貸ししています。ぜひ、ご家族やグループでごらんください。

ビデオテープ

- ① 核戦争後の地球 第1部「地球炎上」 (30分)
- ② 第2部「地球凍結」 (30分)
- ③ 火垂るの墓 (90分)
- ④ チェルノブイリ・クライシス (57分)
- ⑤ 教えられなかった戦争 (110分)
- ⑥ 証言―侵略戦争 (43分)
- ⑦ にんげんをかえせ (20分)
- ⑧ 首都炎上―アニメ東京大空襲 (18分)

16ミリ映画フィルム

- ① 核戦争後の地球 第1・2部 (27分)
- ② おこりじぞう (20分)
- ③ おかあさんの木 (20分)
- ④ 100番目のサル (20分)
- ⑤ 核戦争 (15分)

申し込み

直接広報広聴課へ 内線2823

こちら編集室

夏の祭典富士まつりが7月23、24日に行われました。この日は広報ふじの編集の真ただ中。けれど担当の二人は編集作業を中止して富士まつりに全力投球。まつりでは例え話から始まった8時間連続生放送を担当。無謀な企画を寄せ集めのスタッフで悪戦苦闘しながらも「なせば成る」の精神でやり遂げてしまいました。

人口	231,615人	男	115,563人	女	116,052人
世帯	72,306世帯		(7月1日現在)		
発行・編集	富士市総務部広報広聴課			☎51-0123	